

殿町夜光線における路上駐停車の抑制対策に関する 社会実験を実施します

殿町夜光線においては、大型車の荷待ちによる時間調整やドライバーの休憩等によって、路上駐停車が恒常的に発生しており、今後の交通量の変化により、交通渋滞や交通事故の発生が懸念されるほか、駐停車車両から排出される排気ガスやごみのポイ捨てによる地域環境への影響も問題となっております。

こうしたことを踏まえ、本年7月に交通管理者と協議の上、実験結果への影響を考慮し、事前周知は行わずに、路上駐停車の抑制対策に関する社会実験を実施したところです（実験概要と結果は裏面に記載）。

この結果を踏まえ、この度、路上駐停車に対する効果的な対策手法の検討の一環として、交通管理者や道路管理者等と連携し、路上駐停車抑制対策を改めて実施するとともに、実験区間内にある入江崎水処理センター西系処理施設敷地内に、簡易的なトイレや移動店舗を備えた仮設トラック待機所を設置し、そこに路上駐停車車両を誘導する社会実験を事前に広く周知した上で次のとおり実施します。



路上駐停車の現状（殿町夜光線）

1 日程 令和4年11月17日（木）から12月15日（木）まで

2 場所（7月の社会実験と同一区間）

- ・対象区間 殿町夜光線 / かわさき南部斎苑前～運輸支局前交差点 上下線（詳細は図2）
（片側 約760m、上下線合計：約1,520m）
- ・大型車誘導場所
 - 1) 韮橋水江町線沿線 大型車駐車場（詳細は図3）
 - 2) 東扇島川崎市荷待ちトラック待機所 2カ所
 - 3) **【新規】** 入江崎水処理センター西系処理施設敷地内 仮設トラック待機所（仮設トイレ・移動店舗を設置、詳細は図4）
（空き状況を web 上で確認できます。）

下記の二次元バーコードを読み取ると、入江崎水処理センター西系処理施設敷地内の空き状況を確認できます。



Web カメライメージ



二次元バーコード



図1 位置図（7月の社会実験と同一区間）

3 社会実験概要

- ・ 立て看板の設置による駐車禁止の周知と既存のトラック待機所への誘導（図1、2）
- ・ 対象区間の路肩へのカラーコーン設置による物理的な駐停車抑制対策（図2）
- ・ 交通管理者、道路管理者によるパトロールの強化
- ・ **【新規】** 対象区間に隣接する入江崎水処理センター敷地内に仮設トイレ及び移動店舗を備えた仮設トラック待機所を設置（図4）

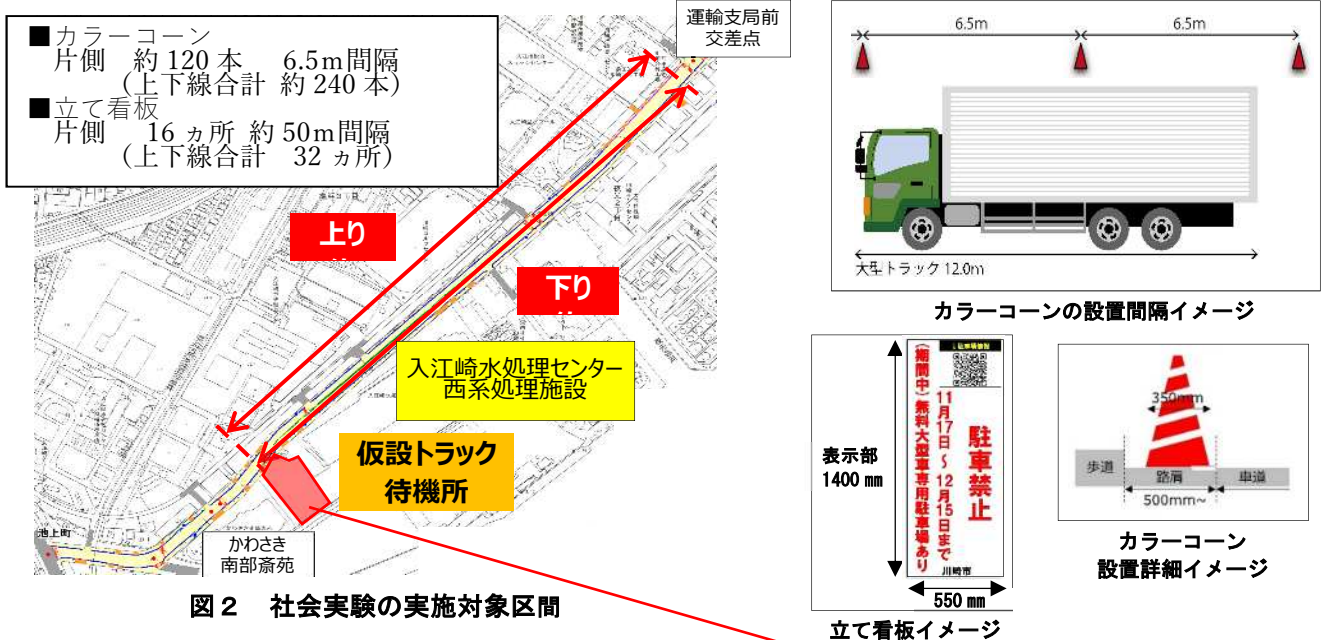


図2 社会実験の実施対象区間



図3 臯月橋水江町線 大型車駐車場



図4 入江崎水処理センター西系処理施設敷地内の仮設トラック待機所イメージ

4 7月の社会実験の概要及び結果

実験概要	実験結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 立て看板による駐車禁止の周知と既存トラック待機場場への誘導 ・ 実験対象区間の路肩にカラーコーンを設置することによる物理的な駐停車抑制対策 ・ 交通管理者、道路管理者によるパトロール強化 ・ ドライバーに対し、駐停車の理由やトラック待機所に併設してほしい機能等についてアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下線合計 407 台あった駐車車両が、45 台に減少 (約 9 割削減)※13 時間の合計台数 【アンケート結果】 ・ 駐車理由は、荷主や工場などの受入までの時間調整が約 6 割 ・ 水江町、塩浜、殿町など、殿町夜光線近傍を目的とする車両が約 5 割 ・ トラック待機所に求める機能としては、トイレ、コンビニ、自動販売機などが多数

【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部拠点整備推進部 荒木
電話 044-200-3788